

平成 2 5 年 度 同 好 会 事 業 報 告

俳文学 同好会 世話係名 大塚 正 会長名 鶴田 順子

月 日	実 施 し た 事 業 内 容	参加人員
8 月 3 日	吟 行 と 句 会 （ 雷 滝 に て ）	5
1 ～ 2 月	吟 行 と 句 会 （ 場 所 は 未 定 ）	

本年度の俳文学同好会は、五名の会員でスタートしました。主な活動は、吟行と句会です。慌ただしく生活している中で、吟行・句会の時だけは、周りの自然を眺めながら、心静かに過ごすことができます。このような時間を過ごすことができることの喜びを句会・吟行の度に感じています。

一回目の句会は、八月三日高山村雷滝へ行き、吟行と句会を実施しました。「雉子」主催の田中保先生を講師にお迎えして行いました。高山村へ向かう道は、木々の葉が茂る中、脇に規則正しく咲いている紫陽花の青色が一層際立って見え、俳句をつくるぞという気持ちになりました。また、山田温泉を通る時には、観光シーズンでありながら、朝の温泉街の静けさに感じ入りました。

雷滝は、朝早かったため、観光客は思いの外少なかったです。雷滝に向かう遊歩道では、季語を田中先生に教えていただきながら歩きました。雷滝に近づくと、凄まじい水の音に圧倒されました。雷鳴のような轟音で、滝に近づくのが怖い感じを受けました。雪解け水や梅雨などで水量も多く、勢いよく落ちる水を見ると、滝壺と一緒に吸い込まれそうな感じも受けました。そんな迫力ある雷滝の岩肌に、生えている植物もあり、植物の力強さも感じ入りました。雷滝に来た時には、観光客の車もほとんどなかったのに、発つ頃には、車が増えていて、ゆったりとよい時間を過ごしたと思いました。

雷滝から帰ってきて、学校の図書館で句会を行いました。いろいろ感動したことがあったにも関わらず、それを五七五で表現するには、自分の語彙力のなさを感じてしまいます。それでも、田中先生に自分の気持ちを伝えながら、句を添削していただいて、何とか俳句らしいものになったという感じです。田中先生の丁寧なご指導、本当

にありがとうございました。

今年度中もう一回吟行と句会を計画したいと考えています。吟行と句会に参加していただいた先生方ありがとうございました。

（会長 鶴田 順子）